

『自然ふれあい講座』をおこないました

平成22年度「自然ふれあい講座」の第9～12回の様子をお知らせします。ご参加ありがとうございました。



常緑樹シラカシの様子について解説

第9回 県北に常緑植物が増えている 参加者 15名

10月23日(土) 10:00～12:00 担当：大塚孝一・堀田昌伸
場所；臥竜公園（須坂市）

主な内容

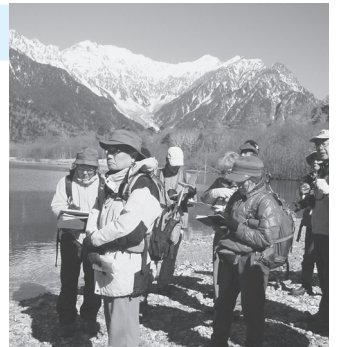
- ◎地球温暖化に伴って北信地域にも増えている暖地性の常緑広葉樹シラカシや常緑性シダのベニシダを現地で観察し、身近なところで植物の生育状況が変化していることを解説しました。
- ◎ドングリはカケスなどの動物に運ばれて広がります。もし温暖化により、ドングリから芽生えた幼樹が冬を越して成長することができるようになれば、分布は拡大していきます。実際にドングリから芽生えた幼樹を観察しながら、温暖化の動植物への影響について考えました。

第10回 自然史王国信州を歩く～上高地の自然～ 参加者 13名

11月6日(土)～7日(日)〈1泊2日〉担当：富樫均・北野聡
場所；上高地（松本市） 共催；信州大学山岳科学総合研究所

主な内容

- ◎信州にふさわしいエコツーリズムの展開を考えるスペシャル講座として宿泊付きで企画しました。信州大学の原山教授にもご協力をいただき、一大観光地である上高地の新たな魅力を探求しました。
- ◎宿泊先では、宿のご主人から昔の上高地の様子についてお話を伺い、現地では参加者と案内者が一緒になり、上高地の自然の成り立ちや自然保護のあり方について学び、意見交換をしました。よく晴れた晩秋の山々は美しく輝き、充実した2日間になりました。



大正池の畔で山の成り立ちを考える

第11回 “カワウのねぐら入り” 観察！ 参加者 14名

12月4日(土) 15:00～16:30 担当：堀田昌伸
場所；東京電力小諸発電所第一調整池（佐久市） 共催；東信自然史研究会

主な内容

- ◎池の浮島ではカワウが日中50羽以上休息し、夕方になると約10kmはなれた“ねぐら”に向かって一斉に飛び立ちます。その様子を観察しました。
- ◎当日も16:19ごろからカワウたちが次々と飛び立ちはじめ、ねぐらに向かう姿を確認することができました。
- ◎池にはカワウの他に、キンクロハジロ・カワアイサ・ホシハジロ等のカモ類も多数おり、観察することができました。



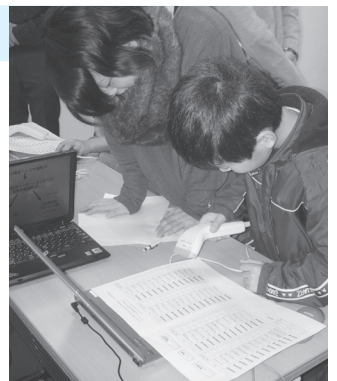
ねぐら入り前のカワウの生態を観察

第12回 実感！CO₂のおもさ(冬編)～あなたが減らせるCO₂ 参加者 10名

1月22日(土) 10:00～12:00 担当：浜田崇・畑中健一郎・陸斉
場所；伊那市生涯学習センター 共催；県地球温暖化防止活動推進センター
後援：伊那市 協力：信州大学教育学部村松浩幸研究室

主な内容

- ◎地球温暖化の主な原因の1つがCO₂だと言われています。しかし、空気中のCO₂は目に見えないため、なかなか実感しづらいのではないのでしょうか。講座では、1m³方形枠や重さの異なるカバンを使ったクイズを交えて、CO₂を重さで実感しながら省エネによるCO₂削減方法を考えました。
- ◎家庭ごとに、1ヶ月の電気やガス、灯油、ガソリンの使用量からCO₂排出量を計算してから、削減メニューカードとバーコードを使って、グループ討議などを交えながら、各家庭の省エネ計画を作りました。



バーコードで削減メニューを計算